



# おのでら慎一郎はSDGsを推進します!



SDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。



## ITTO × SDGs

本格的な国際機関としては初めて日本、それも横浜に本部を置くITTO(International Tropical Timber Organization=国際熱帯木材機関)。ITTOは熱帯林資源の保全と持続可能な経営、利用などを促進している政府間組織で、SDGsを強力に推進しています。

先日、ITTOのゲアハート・ディタレ事務局長と、シャーム・サクル事務局長を黒岩祐治知事にお引き合わせしました。

SDGsの推進や、今年横浜で開催されるTICAD7(第7回アフリカ開発会議)での相互協力、神奈川県で行っているプラごみゼロ運動についてなど、短時間ではありましたが、有意義な会談となりました。



左からおのでら、ディタレ事務局長、黒岩知事、サクル事務局長(2019年1月24日)

## もったいない × SDGs

私が2005年の自著『もったいない』に引用した国連の「ミレニアム開発目標」MDGs(エムディージーズ)。21世紀初頭の15年間で極度の貧困と飢餓を撲滅することをめざしたMDGsは、1日1.25ドル未満で暮らす人々の割合を1990年の47%から14%に減少させるなど、一定の成功を収めました。

『もったいない』の改訂版を執筆したのは、SDGsがスタートした2016年。年間約177兆円にも上る世界の軍事費の1割で、今なお極度の貧困に苦しむ8億人以上の人々が救われることなどを短い文章にしました。そうしたMDGsで積み残されたことも含め、不平等の是正や気候変動への対策、質の高い教育の提供などをめざすのがSDGsです。

## 「SDGsを最初に取り上げ、私に教えてくれたのが公明党でした」(黒岩知事)

2019年1月16日 公明党「新春の集い」にて

## 神奈川県 × SDGs

SDGsは先進国、途上国を問わず、すべての国々が対象です。例えば、私が取り組んでいる私立高校の学費補助はSDGsの目標その3「質の高い教育をみんなに」に、困難をかかえる女性への支援は目標その4「ジェンダー平等を実現しよう」と軌を一にしています。

私と公明党県議団は、県の諸施策をSDGsの視点で推進することを提案。それを受けた県がSDGs担当理事を置くなど積極策を講じた結果、SDGs達成に向け優れた取り組みを行っているとして、国から「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。

おのでら慎一郎プロフィール▼昭和31(1956)年2月12日生まれ▼昭和54(1979)年、学習院大学文学部卒業後、平凡出版(現マガジンハウス)に入社。雑誌『ポパイ』『ブルータス』や書籍の編集に携わる。『ポパイ』第8代編集長▼平成15(2003)年、神奈川県議会議員に初当選。現在4期目▼防災警察常任委員会、商工労働常任委員会、厚生常任委員会の委員長を歴任。神奈川県議会第111代副議長。